あおい通信 第151号

第151号 平成29年12月1日
リハビリテーション
デイサービス葵・編集委員会
練馬区東大泉3－17－5
カトウビル3F
電話 03－3978－0919

日本の祭り 「川越氷川祭」 世界遺産めぐり最終章（文化遺産）

川越氷川（ひかわ）祭の山車（だし）行事

前号で、秩父夜祭りを紹介しましたが、秩父夜祭りの少し前に開催される、埼玉県でもう一つユネスコに登録されている行事です。毎年十月第三日曜日とその前日の土曜日（ただし十月十四日・十五日が土曜日と日曜日の場合はその両日）に行われる埼玉県川越市の大祭と並び関東三大祭りの一つと称されることが多い。二日間で八十万人以上の人出を数える。三六〇年以上にわたり連綿と続いてきた祭事で、国の重要無形民俗文化財に指定されている。また二〇一六年にはユネスコの無形文化遺産に「山・鉾・屋台行事」の一つとして登録された。

歴史

川越城下の大半が焼き尽くされた寛永十五年（一六三八年）の川越大火の翌年に幕府老中首座であった松平信綱が川越藩主となり町の再興がなされる中で、慶安元年（一六四八年）、信綱が二基の神輿・獅子頭・太鼓を寄進、川越総鎮守である氷川神社の神事として神輿渡御が行われるようになった。慶安四年（一六五一年）には祭礼となる。経済的に繁栄した川越商人の町方文化が花開いて、元禄十一年（一六九八年）には踊り屋台が、天保十三年（一八四二年）には商人町と職人町であった城下の十ヶ町に人形山車が登場するなど変遷を経た。

江戸時代から「小江戸」と呼ばれた川越では祭りも江戸神田明神の神田祭など天下祭の影響を強く受けており、幕府の影響を色濃く受けた天下祭が東京では明治維新以後に新政府によって解体されたり、電線の敷設によって曳ができなくなったことで山車から神輿中心の祭りに変貌した現在、江戸天下祭の伝統が今日でも最も生きている祭りの一つである。

第二次世界大戦後、旧十ヶ町以外の旧武家屋敷地域の町会や駅周辺の新興町会が参加して山車が増え続け、現在でも新造中の山車や計画中のものがある。祭神（川越氷川神社）の氏子以外の祭への参加を受け入れる点もこの祭の特徴であるが、新規参加の町も旧十ヶ町の様式に倣うようになっており、古くは旧十ヶ町以外で連雀町・中原町が参加する際その旨を誓約した書類があったと伝えられている。

こういった三六〇年以上の歴史が現在も維持されている点などが評価され、二〇〇五年（平成十七年）、「川越氷川祭の山車行事」として重要無形民俗文化財の指定を受けた。

東西南北

高校通算111本塁打を打った清宮幸太郎内野手（東京・早稲田実）が、日本ハムからドラフト1位で指名され、16日東京都内で球団と仮契約を結んだ。契約金1億円プラス出来高5千万円、年棒1500万円（ともに推定、新人選手の上限額）背番号は入団会見で発表される。学生服姿の清宮は、丸刈り頭から少しのびた髪の毛を整えて会見に臨んだ。やや緊張した面持ちで、「期待に応えられるようにがんばります。1年目が終わった時「ファイターズで一番印象に残った選手は」と聞かれ、『清宮』と答えていただけるのがベスト」と笑顔を見せた。

清宮は中学1年だった2012年、日本ハムの試合で始球式を努めた際、栗山英樹監督からサインボールを貰った。『プロ野球で待っています』と、コメントつきで。サインボールはいっぱいあるけど、コメントを書いてくれたのが栗山監督だけだったので。と運命のチームへの入団を喜んだ。

一年目からの活躍を期待している。

K・ドラゴン

談話室

H17年9月末だったか、ロッテの井口資仁選手が「今季限りで選手生活を終了する」と記者会見を開いた時、彼には二十一年前の真っ黒な顔にキラキラと希望に輝いていた目の煌めきは無く、充実した日々で一仕事終えた男の落ち着いた姿があった。

二十一年前、彼は野球部の監督に連れられて「一年先輩の小久保裕紀の後を追って福岡ダイエーホークス（現ソフトバンクス）に入団することになった」と卒業生の会に挨拶にやってきた。この会には松下政経塾を卒業し、衆院選に打ってでる若き日の中田宏前横浜市長や、女優業をスタートさせようとしていた寺島しのぶも白地の振袖で現れたが、すでに振袖で包み切れないスケールの大きさがあった。

何でこんなことを言い出したかというと、彼らが活躍したこの二十年間に、日本だけで無く世界がすっかり変わってしまったと思うからだ。

七十年前の終戦後、主婦はタライで洗濯し、七輪で煮炊きし薪やガスでご飯を炊いていたが、時間はゆっくり流れていた。それが洗濯機や炊飯器、掃除機やテレビと電化し便利になった。手で開けなくてもドアがひらき、階段を登らないでもエスカレーターやエレベーターがあり、車の移動で歩かない。

今から五十年近い昔、蓋を取らずにお湯が注げる魔法瓶が出現した時、日経新聞に「便利なものが現れれば現れる程、人間は怠惰になり物を考えなくなる」というコラムが掲載されたが、ロボットが人間に替って働いたり、手術までする時代、人間はどうなるのだろう。果たして幸せなのだろうか？ （山村匡子）

葵友の会 広報コーナー

11月の報告

17日（金）カラオケ
9名の参加。
20日（月）グルメの会。
13名の参加。メトロポリタンホテル。「花むさし」あぶり焼きのコースで、肉、魚、野菜のあぶり焼きを堪能しました。

12月の予定

15日（金）カラオケ

年明けは、恒例の初詣日帰りバス旅行を予定しています。定員は限定させて頂きますが、宜しくお願いします。

（事務局長）

◆編集委員会より
「あおい通信」は皆様からの原稿を募集しています。
係員・飯島

葵に通所しての感想

笠井典子

ケアーマネジャーの松本利恵子様のご紹介にて、デイサービス葵さんを知り、見学当日にお迎えの車中におられた方が、にこやかに水曜と土曜にきていますが、「楽しいので是非いらして」との、お声かけに嬉しくなり、もう、こちらにと心で決め、はじめての葵さんを見学させて頂きました。

皆様が明るくて、一生懸命な良い雰囲気が伝わって参り、通える事ができたら本当に有難いと思いつゝ、お話を進めていった事が、昨日の様に思い出されます。

九月の火木から出席させて頂き、少し慣れて参りましたが、知らずにご迷惑かけていると思い、この場で、お詫び申し上げます。八四才を迎え、クラブのような、学校のような、しかし自由で温かい、健康的な居場所に、御縁が出来てうれしいです。社長様が一人々に、ご挨拶なされ、本当に御丁寧でびっくり致しました。スタッフの皆様にはいつも、にこやかに御指導していただけ、一日の過ぎる早さを感じます。高齢になりあきらめていた絵手紙にも出会え、パソコンの時間もあり、とても楽しみです。ご縁あって、葵に入れて頂け、日々感謝し過しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

歳をわすれて

額田美保

「おいくつですか？」

「九十才です　いえ今月九十一才なって仕舞ったの」

「えっ本当ですかお若いですね。七十代に見えます」

「有難う」そう云い乍ら私は、いつも思うのです。

年寄りになりたくないと……

確かにいつの間にか知らぬ間にどんどん歳を重ねて、思いもよらぬ年齢になって終ったのは事実です。そして長生きさせて戴けるのは私に取って感謝しきれない歓びなのですが、しかし私は、年寄りに、老人になりたくないのです。無理をしてでも若く在りたい元気で居たい。私はいつ迄続くか解りませんが、若ぶっていようと思って居るのです。其れにはまず心を若々しく少し背のびしてでも、思いついた事に挑戦するのです。まず、身近にある新聞や、本を読む、人と話をする声を出す事は心を明るくします。無口は駄目だと思います。笑顔です。そして暗い色の洋服でも何処かになにか一つ明るい色を添える工夫をして見ると良いのではないでしょうか、似合と思えば年甲斐も無い色の服も私は、着ます。今までの昔の物ばかりですが、人の為よりも自分を楽しませる工夫が、人を喜ばせる役に立つのかも知れません。私は、若い心を失わず何処まで生きて行けるか試して行くつもりです。

やがてはどうなるのか、なんて思わずに、今日この一日を少しでも笑える、楽しい日々にして負けずに頑張りたいものです。

古今抄（長期利用者様の紹介）

前号より、葵開所以来、長期ご利用者様の昔と今の一時期を「古今抄」として順次、紹介するコーナーを設定しました。

詳細、前号参照

中濱　美代子
（H17年3月より通所）

葵に入って、一番の印象は、スタッフの人が良いのと来やすいこと、それは昔からずーっと変わらない。葵に来ると、運動が出来るので頑張って運動しようと思える。葵をやめようと思った事もあったがやめられなかった。

佐藤　俊介
（H17年4月より通所）

葵が創立十周年を迎えた時、そのお祝いの会に招待されたことが、うれしかった。自分は特に変わったとは思わないが、葵のルールが厳しくなったと思う。

山村　匡子
（H17年4月より通所）

葵の開所二か月前、私は腰椎スベリ症の手術を受け、退院したその日に中越地震で東京も震度5弱の揺れだったので、災害の際に自分で身を処せないと、周りの迷惑になると思ったのが、葵に来た動機ですが、葵は機械によるリハビリ。それを禁じられた私に社長はマットの体操をご配慮下り、飯島さんのマンツーマンの指導で始まったのが、マット体操の始りでした。葵ではパソコン・お習字・手芸等々を学び、私の人生がすごく豊かになり、また様々の処に行かれて、オリエント美術館でトーランドット姫（？）の気分も味わえました。過去5年半で7回も入退院しながら元気になれたのも、葵での学習のお陰です。

大塚　芳男
（H17年5月より通所）

古賀政男記念館の見学をしたこと。趣味でギターを15歳ころから弾いていた。古賀メロディーが好きで良く習った。見学したときは、当時の空気に触れた様で、感動した。リハビリは自分との闘いなので、ストイックに実践することが重要だ。忍耐力が身についたと思う。

日本の霊場、信仰の地

絹田治夫

前回の続き。

（山形県鶴岡市ほか）

出羽三山神社

593年開創。

羽黒山（はぐろさん）の出羽（いでは）神社、月山（がっさん）月山神社、湯殿山（ゆどのさん）神社の3神社を合わせて祀る。出羽三山は古来、修験道の聖地として知られている。

（青森県むつ市）

恐山（おそれざん）

862年開創。

日本三大霊場の一つ。火山活動によって硫気の噴き出す景観が古来、地獄を思わせ、民間信仰の対象となってきた。死者の霊をよび、口寄せを行うイタコがいることでも有名。

（茨城県鹿嶋市）

鹿島神宮

神武天皇元年創設。古くから武神として東国の武士に信仰された。地震をおこす大ナマズを押さえつける要石（かなめいし）や、だれが入っても同じ深さと伝えられる御手洗池（みたらしのいけ）などがある。

（東京都渋谷区）

明治神宮

1920年

明治天皇と昭憲（しょうけん）皇太后を祭神とする。加藤清正が掘ったといわれる清正井（きよまさのいど）は、都会では珍しい湧水の井戸として人気を集めている。

あおい・歌壇・俳句・短歌・川柳

今一度　二本の足で　歩きたく
葵のデイサービスで　立ち上がりたし

信楽の　狸一匹　庭に来て
古里の空　しのびて仰ぐ

サイタサイタサクラガサイタ　あの頃は
国語大好き　字も褒められた

森下千壽子

ホットニュース

将棋の最年棋士で中学3年生の藤井聡太朗四段（15）が関西将棋会館であった王座戦で平藤慎吾七段（54）に勝ち史上最年少（15歳4ヶ月）での公式戦50勝を達成した。

四段昇段から1年1ヶ月での50勝到達はこれまでの羽生善治棋聖の記録（16歳6ヶ月）を更新した。対局後「全体的に自信のない局面が続き最後になって、勝ちを意識できた。一局々指してきたのが節目（せつもく）の数字になったのは感慨深いです」と話した。

雑学館

おせち料理は年五回食べられていた

今では新年を祝うためのものように扱われているが、もとは「御節句」「節目」「節供」など呼ばれ**季節の変わり目のお祝いをする日のこと、その日に神様へ捧げる供物のこと**だった。このお祝いの中でも特に重要視されていたのが1月7日の人日（じんじつ）3月3日の上巳（じょうし）5月5日の端午、7月7日の七夕、9月9日の重陽（ちょうよう）の五節句でおせち料理はこの五節句に神様へ捧げ、恩恵をあやかろうと食べられていた。それが後に、お正月のみとなった。